

12月12日(火) <校長から、生徒の皆さんや本校に関心のある方に、折々に伝えたいことを発信します>

## 大森高校全日制は80周年！歴史をつなぐのは君たちだ



令和5年11月23日(木)午後2時から、本校体育館において、全日制創立80周年、定時制創立75周年の記念式典と記念行事を行いました。

生徒諸君には、午前中の予行では、全体の流れの確認と起立・礼の練習をしてもらいましたが、さすが森高生、先生方の心配をよそに、先生方から何回もうるさく言われることもなく本番を迎えることができました。また、記念行事参加の部活動の生徒は、ここに至るまでの練習や前日・当日のリハーサル等、着々と準備を進めてきてくれました。司会や進行を支えた生徒会役員、また、会場準備と片づけを担当してくれた2年生など、それぞれが様々な協力してくれたおかげで、とても素敵な行事となりました。

予行の際に、多くの御来賓をお迎えするという事は、それだけ今の森高が注目されているということなのだよ、と伝えましたが、校長の私の思いを生徒の皆が真剣に受け止めてくれたからこそ、本番の式典があのように厳粛な雰囲気でき、第二部記念行事も併せて成功できたのだと思います。ありがとう。

また、都議会議員の方々、近隣都立高や大田区立中学校の校長先生方、同窓会やPTA関係の方々など、御来賓の皆様から、お帰りになる際に、口々に「よかったですよ」「生徒が頑張っていますね」等、たくさんのお褒めの言葉をいただきました。「全日制だけでなく定時制の様子もよくわかりました」「私の好きな曲の演奏を聞けました」「ダンスの振付がすごいですね」等、具体的に伝えてくださった方もおいでです。記念行事で生き生きと練習成果を披露できただけでなく、全日制と定時制が協力して行えたこと、直接、生徒の言葉で御来賓に向けて御支援いただいていることへの感謝を伝えられたこと、出し物の内容の多くが「学校」イメージのものであったこと、など私からも褒めたいポイントはたくさんありました。10年に一度しか経験できない貴重な時間を共有させてくれて、本当にありがとう。お疲れ様でした。

この日まで様々な準備と生徒指導に当たった教職員の皆さんにも改めて御礼申し上げます。生徒の様子を共に誇りに思いましょう！

<校長式辞より抜粋>

有名になることや、お金持ちになることだけが人生の成功ではありません。何でもこなせるスーパーマンである必要もありません。得意なことを生かし、苦手なことは努力しながら、皆さん一人一人の、「人々に愛され、社会に貢献する」在り方を、視野を拡げて探し続けて欲しい。学校とは、そのためにあるのです。

